

研修のねらい

- 折衝・調整は「人と人をつなぐ地方自治体職員にとって大切な役割」である意識を高めます。
- 住民との折衝や職場内の調整など、様々な場面を想定した折衝・調整の基本技術を身に付けます。
- 折衝・調整の体験によって自分の強みや課題を認識し、日常業務の中での実践力を高めます。

自治体職員にとって「人と人をつなぐ」技術は、あらゆる場面において活用されます。折衝力・調整力はまさにそのための技術であり、複数人の価値観の対立をまとめ、協働を促進し、高い成果を生み出していくことが求められます。

本研修では、その基礎となる折衝・調整の基本的な考え方や進め方を学ぶとともに、土台となる信頼関係の構築と対立解消の手法について理解を深めます。また、相手の話を正確に聴く力や、自分の考えを分かりやすく伝える力を習得し、演習やロールプレイングを通じて合意形成に向けた実践的なスキルを身に付けます。職場での様々な場面において円滑な折衝・調整を実現するための基礎力を養います。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

1日コース

午前	
◎ オリエンテーション 1. 折衝力・調整力の必要性 (1) 折衝・調整とは ◇ 演習 ◇ 「どのような場面で有効なのか」 (2) 自治体における折衝・調整の必要性 (3) よくある折衝・調整の失敗	2. 折衝・調整の4つのステップ (1) 状況を整理する ◇ 演習 ◇ 「問題を一言で書く」 (2) 利害を整理する ◇ 演習 ◇ 「利害関係を整理する」 (3) 論点を整理する (4) 合意を形成する
午後	
3. 信頼関係を築く ◇ 演習 ◇ 「お互いを知り合う」 (1) 合意形成に求められる関係構築 (2) 信頼関係構築の3ステップ (3) 相手の話を正確に「聴く」 ◇ 演習 ◇ 「傾聴トレーニング」 (4) 自分の意見を論理的に「伝える」 ◇ 演習 ◇ 「説明トレーニング」 (5) 人は見た目(態度)で判断される	4. 対立を解消する ◇ 演習 ◇ 「利害を把握し、合意案を作成する」 (1) 対立(コンフリクト)が生まれる理由 (2) 対立(コンフリクト)を解消する (3) 折衝・調整に有効な「会話の型」 5. 折衝・調整を実践する ◇ 演習 ◇ 「ロールプレイング」 (1) 演習の振り返り (2) 折衝・調整のタイプによる重点項目 ◎ まとめと実践事項検討

講座料 1日研修 160,000～200,000円(税別)

時間 9:00～17:00【12:00～13:00を除く】※ ご相談に応じます。

資料 テキスト使用1,500～2,000円/冊(税別)

お問合せ・申込先 株式会社 行政マネジメント研究所 〒136-0082 東京都江東区新木場1丁目18番11号
TEL: 03-5534-6941 FAX: 03-5534-6942
E-mail: info@amri.co.jp HP: http://www.amri.co.jp